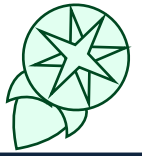


News Letter

公益財団法人遺伝学普及会



contents

- ①評議員のひとこと
(公財) 遺伝学普及会維持会員募集
- ②トピックス
「遺伝学講座・みしま」
「寺deサイエンス」第3回
「子ども遺伝学講座」
- ③予定
「夏休み子ども遺伝学講座」
「サイエンスNOW」
雑誌「遺伝」
- ④公益財団法人遺伝学普及会の概要
沿革、目的、維持会員、役員紹介

～評議員のひとこと～



評議員：山口 建

静岡がんセンターでは、2014年以降、がんのオミックス解析研究、プロジェクトHOPEに取り組んでいる。手術検体を対象に、エクソーム、がん遺伝子パネル、融合遺伝子、全遺伝子発現などを同時に調べ、すでに8000症例の解析を終えた。必要に応じて、全ゲノム、メチローム、プロテオーム、メタボロームをも解析する。こうしてまとめた日本人のがんゲノムデータはウェブでも公開している

(<https://www.icga-scc.jp/ia>)。

この成果をもとに、がんと難病を対象とした国家プロジェクトである全ゲノム解析計画の策定に関わり、2021年度から研究がスタートする。この研究は、将来の大規模ゲノム解析体制整備の一環であり、国立遺伝学研究所の参加も予定されている。今後の協働作業が楽しみである。
静岡県立静岡がんセンター 総長 山口 建



評議員：吉田 隆

『生物の科学 遺伝』を前出版社から受け継いで早13年になる。出版社にとって「定期刊行物」は会社の看板であり、創業20年を超える弊社にとって理工系の『月刊 未来材料』(2012年休刊)と並ぶ二枚看板となったことを喜んだ。だがそれも束の間で、出版社寿命20年説を裏付ける如く陥った内部崩壊、同時期に始まり今に続く出版業界の地盤沈下、2008年9月のリーマンショック等、社内外の三つの重荷がこの時期に一気に覆い被さり、喜ぶ間に浸る余韻もあればこそだった。唯でさえ利益の出にくい定期刊行物をその後、ここまで持ちこたえられたのは、ひとえに出版社のわがままにとことん付き合っていた編集委員会の皆さまのご理解と、同じく皆さまの『本誌』を何としても世に送り続けるという強い使命感の賜物だったように思う。もちろん制作現場も長年に及び激論に次ぐ激論で撤退的にコストを削減した。引き継いだ当初から削減幅は6~7割に及び、今も尚、戦いは続いている。お手元に隔月に届く1冊はそうした秘めた歴史の賜物であることを思い起こしていただければ幸甚である。
NTS代表取締役社長 吉田 隆

(公財) 遺伝学普及会維持会員募集

本財団は、生命科学の基礎となる遺伝学の先導的研究と応用に関する総合的研究を支援するとともに、広く社会への研究成果の啓蒙と普及や次代を担う人材の育成のための助成事業活動を行っております。これらの事業を援助していただくために、団体又は個人に維持会員をお願いしております。

維持会員の会費は、次のとおりです。

維持会員会費(年額) 団体・・・50,000円(何口でも) 個人・・・5,000円(何口でも)

維持会員の皆様には、

- ①本財団主催、後援の講演会等の行事のご案内
 - ②雑誌「遺伝」(隔月発行)の配布
 - ③普及会News Letterのメール配信(年3回程度)
 - ④サイエンスカフェへの優先登録などを行っております。
- どうぞお気軽にお問い合わせください。

<お問合せ先>

公益財団法人遺伝学普及会事務局

〒411-8540 静岡県三島市谷田1111

TEL: 055-981-6857

FAX: 055-981-6877

<https://www.idengaku-fukyukai.info/>

e-mail: genetics@nig.ac.jp

「遺伝学講座・みしま」(2020.12~2021.3) 動画配信

講演1: 「遺伝学をコピーするしくみ 1、2」
 講師 荒木弘之(国立遺伝学研究所 名誉教授、
 デー・バイ・ソ共同利用基盤施設 デー・バイ・ソ 推進室 特任教授)

講演2: 「身近で見えない生物との共生〜ウイルス、細菌、そして真菌〜」
 講師 仁木宏典(国立遺伝学研究所 副所長、
 遺伝形質研究系微生物機能研究室 教授)



(公財) 遺伝学普及会・三島市連携事業

遺伝学講座・みしま

配信期間
 令和2年12月10日(木)
 ~令和3年3月31日(水)

無料 WEB配信
 事前登録不要

講演1 (30分×2)
 「遺伝情報をコピーするしくみ 1」
 「遺伝情報をコピーするしくみ 2」
 ●講師: 荒木 弘之
 国立遺伝学研究所 名誉教授
 デー・バイ・ソ共同利用基盤施設
 デー・バイ・ソ推進室 特任教授

講演2 (30分×2)
 「身近で見えない生物との共生
 ~ウイルス、細菌、そして真菌~」
 ●講師: 仁木 宏典
 国立遺伝学研究所 遺伝形質研究系
 微生物機能研究室 教授

配信URL
<https://youtube.com/user/mishimacity>

お問い合わせ先
 三島市政策企画課
 電話 055-983-2616
 FAX 055-973-5722
 メール mishimacity@mishima.shizuoka.jp

主催: (公財) 遺伝学普及会・三島市 後援: 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所

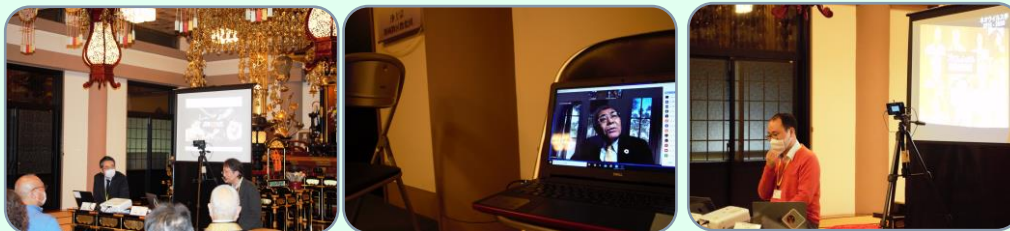
多くの皆様にご視聴いただくことができました。ありがとうございました。

「寺 de サイエンス」第三回開催(2020.12.10.Thu.)

日時: 2020年12月10日(金) 19:00~21:00
 場所: 君澤山 蓮馨寺

【第1部】「コンピューターグラフィックスによる科学的再現
 ~『Nスペ恐竜超世界』制作の舞台裏~」
 講演: 植田和貴氏(NHKiカブライズ 自然科学番組 チーフ・ディレクター)
 鼎談: 植田和貴氏 × 五條堀 孝 × 小林 武彦

【第2部】「遺伝学から見た新型コロナウイルス」
 鼎談: 中川 草氏(東海大学医学部・講師) × 五條堀 孝 × 小林 武彦



SCIENCE CAFE

寺 de サイエンス

【第1部】コンピューターグラフィックスによる科学的再現
 ~『Nスペ恐竜超世界』制作の舞台裏~
 講演: 植田和貴氏(NHKiカブライズ 自然科学番組 チーフ・ディレクター)
 鼎談: 植田和貴氏 × 五條堀 孝 × 小林 武彦
 (NHK総合テレビ放送 2020年12月10日 19:00~21:00)

【第2部】遺伝学から見た新型コロナウイルス
 鼎談: 中川 草氏 × 五條堀 孝 × 小林 武彦
 (NHK総合テレビ放送 2020年12月10日 19:00~21:00)

Zoomライブ配信
 と
 現地の
 ハイブッド開催

2020.12.10(木) 19:00~21:00
 場所: 君澤山 蓮馨寺(三島市広小島町1-39)
 定員: 200人(Zoomライブ配信参加) 20人(現地での参加)
 参加費: 無料(Zoomライブ配信参加) 1,000円(現地での参加)

要申込(12月9日正午)
 お申込みは
 フォームから

お問い合わせ先
 公益財団法人遺伝学普及会
 〒411 三島市南町1-1-11
 TEL: 055-983-2616
 FAX: 055-973-5722
 web: www.genetics.jp

主催: 公益財団法人遺伝学普及会・後援: 三島市、三島信用金庫、静岡新聞社・静岡放送

現地開催(23名)とZoom開催(166名)のハイブリッド開催でした。海外からのZoom参加者もいらっしゃいました。

「こども向け遺伝学講座」(2021.1.23.Sat)

日時: 令和3年1月23日(土) 9時半~12時
 場所: 三島市生涯学習センター
 講師: 斎藤 成也氏(国立遺伝学研究所 教授)
 タイトル: 「ひとの遺伝子のふしぎ」

小学生17人が参加。自分の両親、祖父母、曾父母...と祖先をたどる家系図をもとに講義。最後の質問タイムでは、多くの質問を受け付けました。



公益財団法人遺伝学普及会×三島市連携事業

こども向け遺伝学講座

「ひとの遺伝子のふしぎ」

☆日時: 令和3年1月23日(土)
 午前9時30分~12時まで
 ☆ところ: 三島市生涯学習センター
 ☆対象: 市内に住む小学4年生から6年生
 ☆定員: 30名(応募者多数の場合は抽選)
 ☆講師: 斎藤 成也 教授(国立遺伝学研究所)

小学生向け! 楽しい遺伝学講座

若は自分の家系図を
 作れるかな?

申込み・問合せ先: 三島市役所 政策企画課
 (住所: 三島市南町1-1-11) 電話: 055-983-2616
 受付時間: 午前9時30分~12時(当日受付) 電子メール: mishimacity@mishima.shizuoka.jp
 ※お申し込みの際は「こども向け遺伝学講座」の申し込み用紙をダウンロードしてください。
 申し込み締切: 1月21日(月)まで

新型コロナウイルス感染症の感染予防のためお申し込みの人数が足りませんでした。ご了承ください。

Upcoming Events

夏休み子ども遺伝学講座

毎年好評の子ども向け遺伝学講座です。
国立遺伝学研究所の先生がわかりやすく、楽しく遺伝学の知識を教えてください。
今年は例年同様、夏休みの期間に開催します！
詳細はこれから決まります！お楽しみに！

サイエンスNOW 絶賛放送中！

FMみしま・かなみ（ボイス・キュー）で放送中の「サイエンスNOW」
毎週日曜日12:00~12:30 絶賛放送中です！
毎回、国立遺伝学研究所の先生方が、気になる「遺伝」のお話を始め、
色々な話題を織り交ぜ、楽しいサイエンスな30分を作ってくださいます。
「ドクターG、世界を行く！」のコーナーも不定期で放送中です。



過去の放送は、you tubeでも聞くことができます
<http://777fm.com/blog/science/>

全国放送は、毎週日曜日朝4時30分～
(放送内容はボイスキュー前週の放送分です)

雑誌「遺伝」2021.No3発行

奇数月1日、隔月に刊行されている、生物の科学「遺伝」の、
2021年5月発行号 Vol.75 No.3が、5月1日に刊行されます。
[特集] お酒の生物学[日本編]



生物の科学「遺伝」バックナンバー
2021年3月発行号 Vol.75 No.2
[特集] 動物園・畜産物研究最前線
[フォトコンテスト]
生科連主催 高校生
生きものの“つぶやき”フォトコンテスト



Extra Items

2021年春 遺伝研のさくらたち

普及会の事務局がある、ここ国立遺伝学研究所には、竹中要博士が日本各地から収集した貴重な桜や、研究の過程で生まれた桜など、約200品種、生育数としては約500本の桜があり、一般公開時には、毎年多くの方を楽しませています。

(昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、国立遺伝学研究所の一般公開は中止となりました。)



御衣黄



山桜枝垂

沿革の抜粋

昭和22年（1947年）5月23日	国立遺伝学研究所設立の準備母体として（財）遺伝学研究所を設立
昭和25年（1950年）11月10日	（財）遺伝学普及会に改称
平成26年（2014年）4月1日	内閣府の認可を受け、公益財団法人遺伝学普及会となる
平成29年（2017年）4月1日	日本遺伝学会が、（公財）遺伝学普及会の所属団体となる

目的（定款の抜粋）

この法人は、目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1） 遺伝学に関する研究の助成
- （2） 遺伝学に関する講演・講習会の実施
- （3） 遺伝学に関する図書・雑誌の編集及び刊行
- （4） 遺伝学に関する教育資料の頒布
- （5） 動植物に関する優良品種の普及
- （6） その他目的を達するために必要な事業

維持会員（2021年3月現在）

団体会員

株式会社裳華房代表取締役社長	吉野 和浩
株式会社トミ-精工代表取締役	富永健二郎
日本クリア株式会社代表取締役社長	木本 重信
株式会社池田理化代表取締役	高橋 秀雄
株式会社エヌ・ティー・エス代表取締役	吉田 隆
順天堂大学医学部附属静岡病院院長	佐藤 浩一
三島信用金庫理事長	平井 敏雄
三島市市長	豊岡 武士
三嶋大社宮司	矢田部盛男

個人会員

公益財団法人平和中島財団代表理事	中島 潤
石渡税理士事務所 税理士・行政書士	石渡 清司
静岡コンサルタント株式会社	
代表取締役	森崎 祐治
しげの家 店主	芹沢 茂
植草学園短期大学名誉教授	漆澤 恭子

役員（2021年3月現在）

代表理事

五條堀 孝	アブドラ国王科学技術大学特別栄誉教授 国立遺伝学研究所名誉教授
小林 武彦	東京大学 定量生命科学研究所教授

業務執行理事

城石 俊彦	理化学研究所 バイオリソース研究センターセンター長
斎藤 成也	国立遺伝学研究所教授 ・東京大学大学院教授（兼任） ・総合研究大学院大学教授

理事

遠藤 隆	京都大学名誉教授
------	----------

監事

佐藤 清	国立遺伝学研究所 NBRP広報室顧問
------	--------------------

評議員

山口 建	静岡県立静岡がんセンター総長 （併任）静岡県理事
石和 貞男	お茶の水女子大学名誉教授
池村 淑道	長浜バイオ大学客員教授（名誉教授） ・国立遺伝学研究所名誉教授
勝部 定信	整形外科函南クリニック院長
菅原 秀明	国立遺伝学研究所名誉教授
高畑 尚之	総合研究大学院大学元学長・名誉教授
川内 十郎	静岡新聞社編集局論説委員
桜井 豊	沼津市民文化センター館長
颯田 葉子	総合研究大学院大学教授
峰田 武	公益財団法人佐野美術館名誉会長
花岡 文雄	国立遺伝学研究所所長
吉田 隆	株式会社エヌ・ティー・エス代表取締役社長
岩崎 博史	東京工業大学教授